

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)木津川市内認定こども園新築	階数	地上2階
建設地	京都府木津川市木津川台5丁目4-2	構造	木造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、木津川	平均居住人員	295 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 竣工	評価の実施日	
敷地面積	4,998 m ²	作成者	伯耆清裕
建築面積	2,262 m ²	確認日	2016年5月16
延床面積	2,220 m ²	確認者	伯耆清裕

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.8**

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	2.8

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.0**

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.8**

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.6**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.0**

建物外皮の	3.0
自然エネ	4.0
設備システ	4.0
効率的	3.9

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.5**

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.1**

地球温暖化	3.2
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
・地域の環境に配慮した騒音、振動対策 自然環境重視の空調システムの採用	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
・遮音性能を高める ・断熱性能の向上を図る	・B777-新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている
Q3 室外環境(敷地内)	Q3 室外環境(敷地内)
	・外構緑化指数の向上を図る
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
・空調、換気設備機器は高効率性能の採用 ・照明機器はLEDや高効率の蛍光灯を採用	・主要水栓は節水型機器を採用
LR3 敷地外環境	LR3 敷地外環境
	・空調機器や換気機器の騒音、振動の抑制を図る ・廃棄物の保管、集積の悪臭防止(ごみ置場の設置)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される